

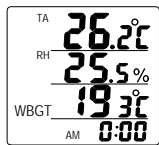
# AD-5693 熱中症指数モニター 簡易操作

(詳細は取扱説明書をご参照ください)

## A. 時計を合わせる

### 手順 A-1

#### 電源を入れる



本体表面のON/OFFボタンを押して電源を入れます

・温度、湿度、熱中症指数が表示されます

### 手順 A-2

#### 時計設定のモードに入る方法



本体表面のSETボタンと裏面のボタンを同時に2秒以上押し続けると液晶表示に“12H”が点滅します

(12時間表示)



本体裏面のボタンを押すと、

“12/24”時間表示が切替できます

どちらかを選択し、本体表面のSETボタンを押してください

(24時間表示)

### 手順 A-3

#### 時計の設定 (時の桁の設定)



時計の表示部に時の桁が点滅します

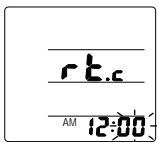
本体裏面のボタンを押して、時の桁を合わせます

設定を確定するには、本体表面のSETボタンを押してください

(時の桁調整)

### 手順 A-4

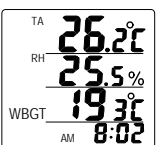
#### 時計の設定 (分の桁の設定)



時計の表示部に分の桁が点滅します

本体裏面のボタンを押して、分の桁を合わせます

(分の桁調整)



分の桁の設定が終わりましたら、

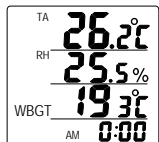
もう一度、本体表面のSETボタンを押し、通常の表示画面に戻ります

本機は温度、湿度、熱中症指数の上限と下限アラームの設定ができます

## B. 温度、湿度、熱中症指数のアラームの設定方法

### 手順 B-1

#### アラーム設定モードに入る方法

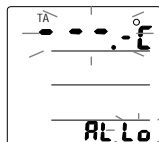


本体表面のON/OFFボタンを押して電源を入れます

本体表面のSETボタンを2秒以上押し続けますと温度(TA)表示欄に“----”と右下に“Lo”が点滅します

### 手順 B-2

#### 温度(TA)の下限(Lo)アラーム設定



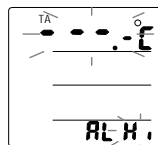
本体裏面のボタンを押し、設定したい数値までに調整します

本体表面のSETボタンを押し、温度の下限アラーム値を確定します

温度(TA)表示欄に“----”と右下に“HI”が点滅します

### 手順 B-3

#### 温度(TA)の上限(HI)アラーム設定



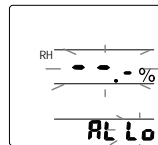
本体裏面のボタンを押し、設定したい数値までに調整します

本体表面のSETボタンを押し、温度の上限アラーム値を確定します

湿度(RH)表示欄に“----”と右下に“Lo”が点滅します

### 手順 B-4

#### 湿度(RH)の下限(Lo)アラーム設定



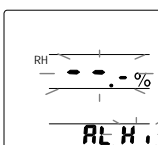
本体裏面のボタンを押し、設定したい数値までに調整します

本体表面のSETボタンを押し、湿度の下限アラーム値を確定します

湿度(RH)表示欄に“----”と右下に“HI”が点滅します

### 手順 B-5

#### 湿度(RH)の上限(HI)アラーム設定



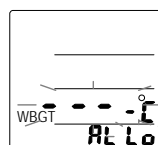
本体裏面のボタンを押し、設定したい数値までに調整します

本体表面のSETボタンを押し、湿度の上限アラーム値を確定します

熱中症指数(WBGT)表示欄に“----”と右下に“Lo”が点滅します

### 手順 B-6

#### 熱中症指数(WBGT)の下限(Lo)アラーム設定



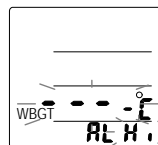
本体裏面のボタンを押し、設定したい数値までに調整します

本体表面のSETボタンを押し、熱中症指数(WBGT)下限アラーム値を確定します

熱中症指数(WBGT)表示欄に“----”と右下に“HI”が点滅します

### 手順 B-7

#### 熱中症指数(WBGT)の上限(HI)アラーム設定



本体裏面のボタンを押し、数値を調整します

本体表面のSETボタンを押し、熱中症指数(WBGT)上限アラーム値を確定します

通常表示画面に戻り、液晶に“ ”(アラームマーク)が点灯します

アラーム設定中に、アラームを設定したくない項目がありましたら、そのままSETボタンを押し、次の設定項目へ進めてください。

アラーム設定後、壁掛または卓上に設置して、ご利用ください  
上限または下限アラーム設定値を超えた場合、アラームが動作します

## C. エラー表示の意味

E4： センサ異常。もしくは内部回路異常

E11： 湿度センサ異常

液晶にエラーがでた場合は、電池を入れなおしてみてください  
状況が変わらない場合、販売店を通して修理を依頼してください

### ご使用にあたって

本製品は熱中症発症を完全に防止できる製品ではありません。熱中症の発症は、温度、湿度、輻射熱などの温熱環境、性別、年齢、既往歴や健康状態などの個人差、運動、労働、日常生活活動などの状況、など様々な要因が作用します。あくまで目安としてお使いください